

平成 26 年度医学部第 4 学年（96 回生）自主学習成果発表会を開催

2014 年 11 月 14 日（金）信濃町キャンパス北里記念医学図書館 2 階北里講堂にて「自主学習成果発表会」が開催されました。当日は、4 学年（96 回生）110 名が、8 ブロックに分かれて「自主学習」で行った研究の成果を発表しました。

また今年度初めて MD-PhD コースプログラムの連携大学である埼玉医科大学の学生(MD-PhD コース履修者)が来校し、自主学習成果発表会の視察および本塾学生との交流が行なわれました。

<自主学習小委員会委員長 相馬義郎 総評>

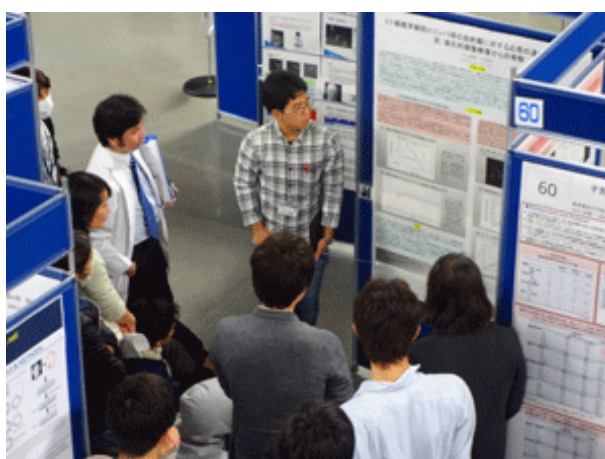
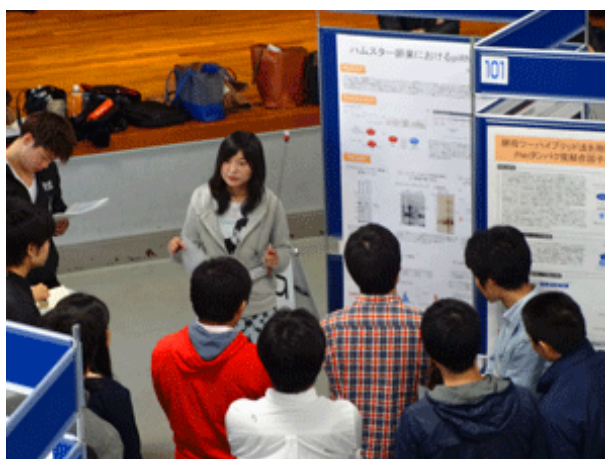
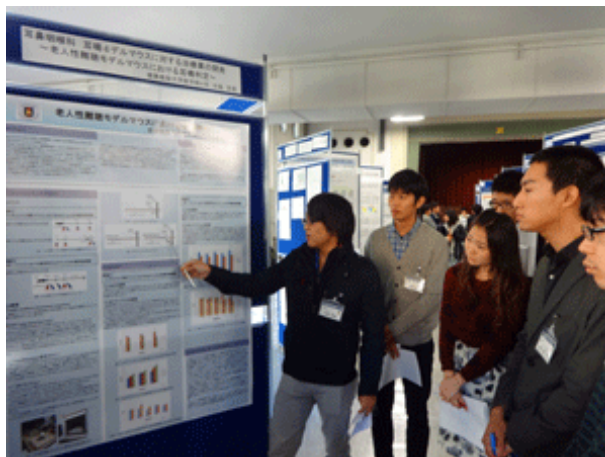
医学部設置科目「自主学習」は、1989 年の塾医学部の教育体系の全般的な見直しに伴って、学生自らが積極的かつ能動的に取り組む、まさに「一身独立型」のカリキュラムとして設置されて以来、実に 20 年以上にわたって踏襲され、慶應義塾大学医学部の教育体系の看板ともいえる特徴的な教科になっております。日吉の基礎科目から、基礎医学、社会医学、さらには臨床医学の多岐にわたる分野からの様々なテーマから、学生自らが選択し、4 月から 7 月までの 4 ヶ月間、担当教員による濃厚な指導のもとに、自ら考えながら実験・調査研究を行います。そして、その成果をそれぞれ成果報告書に纏めることで、医学論文の執筆法を学び、さらに、ポスター形式による成果発表会を行うことで、発表や討論の方法も学びます。本年も、北里講堂一杯に、96 回生それぞれの努力の結晶であるポスターが展示されました。

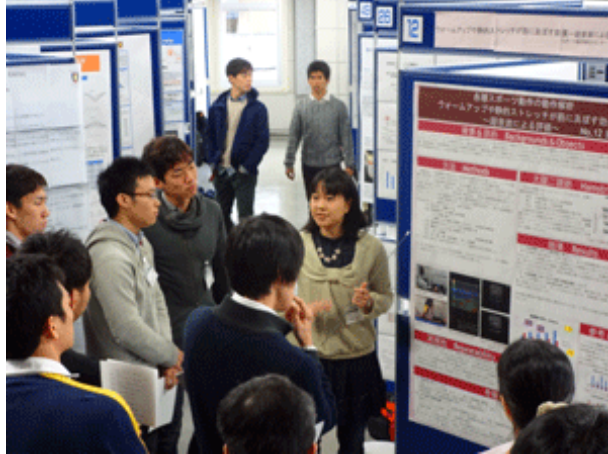
当日は、学生全員が、学生課作成のペンマーク入りの名札をつけて、まさに学会のような雰囲気の中で、熱気溢れる成果発表会が行われました。一昨年度より明確化された配点基準（ポスター 30 点、プレゼンテーション 50 点、ディスカッション 20 点）のもと、全ての学生が、自分の研究内容を聴衆である同級生に伝えるべく、各自様々な工夫を凝らして、決められた持ち時間いっぱい最大限の努力をしました。そして同級生の発表時には、熱心に聴き入り、積極的に質問をしていました。発表会が進むにつれ、徐々に質疑・応答が活発になり、ときに議論が白熱する場面もありましたが、お互いの研究を尊重し、医師として重要な「チームとして学ぶ」ことの大切さを、十分理解してくれたと思います。最後は、各自のポスターを撤収し、それを持って指導教員への報告をおこない、感謝の気持ちを伝えたことと思います。

この成果発表会を通じて、自主学習によって 96 回生全員が、問題解決能力、表現力、そして討論力に加え、協調性と高い倫理観を獲得し、医学生として一回り成長することができた実感できました。この自主学習で得ることができた達成感を糧に、これからはじまる臨床実習にも

積極的に臨み、さらなる総合的成長を遂げられることを期待いたします。

最後にこの場をお借りして、ご多忙中にもかかわらず、懇切丁寧にご指導いただきました、指導教員の皆さま及び学生課の皆さまに改めて感謝申し上げます。





埼玉医科大学の皆さま
(MD-PhD コース履修者)

担当：学生課